

武雄市文化会館エリアが進化する！

市では、昭和50年に開館し、文化活動の場として多くの方に親しまれている文化会館基本計画では、文化・アートが身近に感じられ、人々が交流し、にぎわいを生む新たな整備にあたり、大ホール棟は改修による長寿命化を図り、その他の棟は解体し、新文化

～文化・アートをきっかけに交流・にぎわいを生む施設エリアへ～

エリアを再整備するために、令和5年3月に「武雄市新文化交流施設エリア整備基本計画」を策定しました。文化”融合”施設エリアを整備するとして、整備コンセプト、施設の概要、スケジュールなどを示しています。交流棟に生まれ変わります。進化する新文化交流施設エリアはどんな場所になるのか、その魅力をご紹介します。

令和8年秋ごろの開館に向けて整備を進めています

どう進化する？

進化1 新文化交流棟ができる！

コンパクト化しながらも、多目的に利用できる魅力的な諸室を備えた新文化交流棟を整備します。これまで培われた文化や歴史と、様々な文化・アートが融合しながら新たな価値や交流が生まれる場としての進化を目指します。

ワクワクを生む多目的ホール

日常的な文化活動の発表はもちろん、コンサート等の文化公演、アートの展示やパーティ利用まで幅広い用途で利用可能。ホール内、外（庭園）が融合する自由で新しいホールを目指します。



アートを生み出す創作室

陶芸、絵画、工作など様々な創作活動ができる多目的な創作室を目指します。



ギャラリーにもなる会議室

会議利用だけでなく、アートの展示会場としても利用できる会議室を目指します。



開かれた公民館

文化施設と合築し、専用の入口・スペースを確保し、より多くの人が立ち寄りやすい武雄公民館を目指します。



気軽に立ち寄れるオープンスペース

誰もが自由に利用できる休憩スペースや、くつろぎながらアートを楽しめる交流スペースを目指します。



進化2 鍋島庭園 × アート = 楽しめるアートパーク！

旧武雄領主鍋島茂義公の別邸庭園の良さを活かしながら、アートを融合させ、全く新しい楽しめる庭園整備を目指します。



進化3 大ホールが進化！

安全性の確保のための耐震改修、特定天井対策、外壁の中性化対策等の改修を行うなど、さらに親しまれる施設を目指します。

外壁のリニューアル

レンガを撤去し、新たに外壁塗装を行うほか、エントランス周辺の改修などで、これまでのイメージと異なるホールを目指します。



ホワイエのフリースペース化

1・2階のホワイエ（ロビー）を常時開放し、勉強やビジネス利用のほか、誰もが気軽に立ち寄り、くつろげるスペースを目指します。



みんなの声 市民の皆さまにいただいた様々なご意見を反映しています

これまでの文化会館よりも、多世代の方々が気軽に立ち寄り、親しみが持てる新文化交流施設エリアとするため、幅広い世代にご参加いただいた市民ワークショップをはじめ、文化団体やサークルに所属する皆さまとの座談会や学識経験者などで構成する基本計画策定委員会、パブリックコメント等を実施し、多くの市民の皆さまの声をいただきました。ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました！



武雄町民ワークショップ



基本計画策定委員会



市民ワークショップ



文化団体座談会



お知らせ 整備期間中の休館について

現在ご利用されている方や、今後利用を予定されている方には大変ご迷惑をおかけします。下記の期間はご利用いただけませんので、皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

青少年ホーム棟 休館

令和6年1月～2月
※令和6年3月～5月までは通常通りご利用いただけます。

文化会館全館 休館

令和6年6月～
※ホールやその他諸室を含め令和6年6月利用分から令和8年秋頃の開館まで予約受付ができませんのでご了承ください。

武雄公民館

令和6年5月まで現状のまま開館します。
令和6年6月頃から令和8年秋頃までは青少年ホーム棟を仮設武雄公民館として開館します。



Check /

今後の動きは、市報やたけおポータルでお知らせしていきます。



▲たけおポータル